

心ひとつに

弥富市立桜小学校
学校だより
No.24
平成27年2月13日

心に残った詩から

先日、ある公共機関の壁面に「子ども」と題する詩が貼ってありました。その詩が妙に心に残り、感銘を受ける内容だったので書き写してきました。もちろん、これが全て正しいとは言い切れませんし、人によって考え方が異なることも否めません。しかしながら、学校・家庭・地域において子どもと接する私たち大人が、肝に銘じていきたいことがらではないかと思いましたので、以下に紹介します。

子ども

批判ばかりされた子どもは、
非難することをおぼえる
殴られて大きくなった子どもは、
力にたよることをおぼえる
笑いものにされた子どもは、
ものを言わずにいることをおぼえる
皮肉にさらされた子どもは、
鈍い良心のもちぬしとなる
しかし、激励をうけた子どもは、
自信をおぼえる
寛容にであった子どもは、
忍耐をおぼえる
賞賛をうけた子どもは、
評価することをおぼえる
フェアプレーを経験した子どもは、
公正をおぼえる
友情を知る子どもは、
親切をおぼえる
安心を経験した子どもは、
信頼をおぼえる
可愛がられ抱きしめられた子どもは、
世界中の愛情を感じとることを
おぼえる



全校朝礼の話より（2／9）

今シーズン一番の寒さとTV等で報道していましたが、桜小の皆さんは、寒さに負けずにがんばってほしいと思っています。

さて、今日の話は「スポーツ」です。桜小では、ランニングタイムで5分間のランニングをしています。どの学年もがんばっています。特に1年生のみなさんのがんばりと成長がすごいなあと思います。

最近、スポーツに関する興味あるニュースがたくさんありました。大相撲では、横綱の白鵬が33回目の優勝をしました。今までは大鵬の32回が最多でしたから、白鵬は新記録を打ち立てました。テニスでは、日本人としてはじめて世界ランキング5位にいる錦織選手ががんばっています。近いうちに4大大会（全豪、全仏、ウィンブルドン、全米）でタイトルをとると思います。

スキージャンプの高梨沙羅選手は、今シーズン個人総合優勝3回。今朝のニュースでは、今シーズン3勝目を達成したという報道がありました。

オーストラリアで行われたサッカーのアジアカップでは、前回優勝の日本が一番の優勝候補でしたが、23日の準々決勝では、UAEと試合を行い、PK戦となりました。最初の5人ずつが蹴っても決着がつかず、6人目で香川選手がはずして、負けてしまいました。試合後香川選手は、「PKで失敗したこともそうだが、120分のゲームの中で決めることができなかったことが申し訳ない」と悔やんでいました。

私は、この話を聞いて、やはり香川選手は素晴らしい選手だと思いました。負けたときや失敗したときこそ、その人の価値（よいところ）が分かるものです。一流の人は、負けたとき、失敗したとき、決して他の人のせいにはしない。自分の悪かった点をしっかり認めて、そこを直そうと努力する人です。今朝のニュースでは、香川選手の所属するドルトムントが3対1で快勝し、香川選手が1アシストを記録したという嬉しいニュースが届いてきました。

さて、皆さんはどうでしょうか？失敗したときや嫌なことがあったとき、「友達が悪い」とか、「お家の人が悪い」とか言っていないですか。他の人のせいにするのではなく、自分の足らなかった点を反省し、次に向かってがんばろうという人になってほしいと願っています。